

西条昌良

2006

NEWS



自由民主党代表質問のため登壇

県政発展のために代表質問を行う

平成18年第3回茨城県議会定例会において、西条昌良議員が更なる県政の発展のために、自由民主党を代表して質問を行いました。ここでは、その一部を紹介いたします。

橋本県政の基本理念を問う

Q 西条昌良議員

過去に岩上知事は農工両全を基本理念として鹿島開発を行い、茨城県を後進県から脱却させた。そこで、今後の県政運営について知事の所見を伺いたい。

A 橋本知事

県政を担っていくうえで、農工両全的な発想が大変重要であると考えております。これからも常に、生活者の視点に立って県政を運営してまいります。



県議会の傍聴風景

救急医療体制の 整備は緊急課題

Q 西条昌良議員

本県は、他県と比較すると医療機関や医師及び看護師が不足している。県民が安心して暮らすためにも医療機関の充実を図るべきである。

A 橋本知事

県民の皆様が安心して医療を受けられるよう、救急医療をはじめとする医療提供体制の一層の充実を図ってまいります。なお、鹿行地域や稲敷地域を対象として、千葉県と共同でドクターヘリの活用も進めております。

ヒ素原因の早期究明と 被害者救済を

Q 西条昌良議員

神栖市内で発生したヒ素汚染は、旧日本軍の化学兵器剤に由来するジフェニルアルシン酸が原因であることは確実である。国に対して早期の原因究明と被害者に対する支援策を打ち出すよう要請すべきである。



厚生労働省に対して済生会波崎診療所開設の要望を行う（左から岡田政務官、西条県議、保立市長）

A 橋本知事

健康被害の著しい方の健康管理調査については、本年6月で期限が切れることとなっていたため、その継続を国に要望した結果、7月から延長されたところであります。今後とも、被害者の方々の意向を踏まえながら、引き続き国に強く要望してまいります。



掘削土砂の焼却処分を行う鹿島共同再資源化センター

東関道水戸線潮来・水戸間の 早期整備を

Q 西条昌良議員

県土60分構想を実現させるためにも、東関道水戸線（潮来インター～水戸インター）の早期整備が必要不可欠である。そのためには国土交通省や関係機関に働きかけるべきではないか。

A 橋本知事

県内の高速道路路網の完成に不可欠な東関道水戸線、特に潮来インターから鉾田インター間につきましては、基本計画区間から整備計画区間への早期格上げと早期事業化が図られるよう、引き続き国など関係機関へ強く働きかけてまいります。

大型船舶に対応するため 水深13メートル バースの整備を

Q 西条昌良議員

鹿島港は臨海工業地帯の輸送基地ばかりではなく、首都圏の新しい物流拠点としての機能を加え整備が進められている。今後、北公共埠頭の機能を強化するためには、水深13メートルバースの整備が急務である。



13メートルバースの整備が求められる北公共埠頭

A 橋本知事

鹿島臨海工業地帯の形成は、県勢の大きな発展に寄与してきたところであります。今後、立地企業の国際競争力の強化を図るため、船舶の大型化に対応した施設整備に積極的に取り組んでおり、北公共埠頭水深13メートルバース岸壁につきましても早期に事業化が図られるよう努めてまいります。

つくり育てる 漁業の推進を

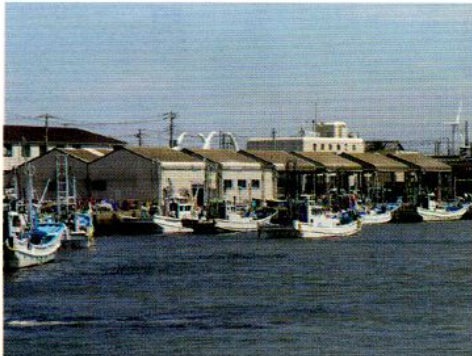
Q 西条昌良議員

本県漁業は、漁場環境の悪化が進み漁獲量の激減とともに漁業経営体数や漁業従事者が減少している。従って今後は、つくり育てる漁業を積極的に推進すべきではないか。

A 橋本知事

全国一の生産を誇り、消費者の評価も高い鹿島灘はまぐりは、天然稚貝の発生が少なく資源が減少していることから、新たな技術開発に取り組んでおるところです。

また、新たな放流対象種の選定については、経済効果等を含め導入を検討するとともに、今後とも本県沿岸漁業の経営安定に資するための「つくり育てる漁業」の推進に努めて参ります。



県内第1位の漁獲量を誇る波崎漁港

農業振興のためには 新技術や新品種の 開発を

Q 西条昌良議員

茨城県の農業出荷額は全国2位を続けてきたが、平成13年には第4位に転落するなど農業の活力が失われている。今後の取り組み方針を伺う。

A 橋本知事

消費者ニーズに対応するため、高品質で商品価値の高い園芸作物を安定して出荷できる青果物産地づくりや、粒が大きく食味のよい米を生産する高品質米生産運動などを進め、販売価格の向上を図ってまいります。



推薦のごあいさつ

神栖市長 保立 一男

神栖市が合併をして一年を経過し、私もまもなく市長就任一年を迎えようとしております。

私は、新生神栖市を「茨城県の中の役割を担う都市」と位置付け、躍進する神栖市の実現に邁進しております。

しかし、都市づくりを行うには単市だけでは成しえないものがあり、やはり国、県の支援も必要であります。西条昌良さんは、これまで県議会議員四期という豊富な経験を持ち、その間、副議長を歴任するなど各般にわたり政治手腕を発揮されてこられました。まさしく郷土神栖をこよなく愛し、情熱あふれる行動には、共感を持つものであります。

どうか、西条昌良さんには、神栖市の更なる発展のためにも今後とも県議会議員として活躍されますことをご期待申し上げます。



ごあいさつ

後援会長 泉 純一郎

錦秋の候 皆様方には益々ご健勝のこととご推察申し上げます。

これまで西条昌良は、世界に誇る工業地帯や農業と水産業が盛んな神栖市の発展のため、地域の声を県政に届け続けてまいりました。

どうか四期十六年におよぶ豊富な議会経験を生かし、「驕らず、恐れず、迷わず」の信条を持ち合わせた、西条昌良を引き続き、県政の場で、精一杯の仕事をさせていただきたいと思っております。

皆様方の力強いご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。

西条県議は保立市政と茨城県とを結ぶ太いパイプ役



左から西条県議、橋本知事、保立市長

神栖市政の更なる発展のために、保立市長と一緒に、橋本知事に次の4項目を要望しました。

- 県立高校への工業化学コースの設置について
- 神栖警察署の設置について
- 水郷有料道路の早期無料化について
- まちづくり特例市権限委譲に伴う支援について

西条昌良後援会

発行／平成18年10月

発行責任者／泉 純一郎

◎波崎事務所 神栖市矢田部5956
TEL 0479-40-6411
◎神栖事務所 神栖市奥野谷4180-1
TEL 0299-96-5701
◎ホームページアドレス <http://www.saijomasayoshi.com/>